



有限会社リード・クリエーション発行.2012年

2012年
3月号

No.129

台湾が世界に誇る「台北101」&鼎泰豊(ディン タイフォン)

台湾という国に興味を引かれたのは、2007年8月から日本経済新聞に掲載された小説「望郷の道」を読んでからのことでした。作者は佐賀県唐津市生まれのハードボイルド作家北方謙三さん。彼の曾祖父・森平太郎(ニイタカドロップなどで知られた新高製菓創業者)さんをモデルに描いたもので、主人公が裸一貫で台湾に渡り、製菓事業を興すという立志伝物語です。無法を許さず、信念を持って生きるこの人物は、まさに男も惚れる「男の中の男」毎日読むうちにすっかり虜になってしまいました。

それ以来、一度は訪ねて見たいと思っていた台湾にやっという機会に恵まれました。と言っても日程は2泊3日の研修旅行、時間の関係で見たいところは限られていました。今回は台北市の中でもひととき目を引く超高層ビル「台北101」と、その地階にある飲食店「鼎泰豊」(ディン タイフォン)をご紹介します。

まず101の建物に近づいて驚いたのはその巨大さでした。高さ509.2m、地上101階、地下5階からなり、「イチマルイチ」の名前はこれに由来するそうです。

施工は日本の熊谷組を中心としたJVにより行われたそうです。この高さは2008年時点で、全面ガラス張りの近代的建築ながら完成した建築物としては世界一高い建物だったそうです。

市内が一望出来るという展望台に昇ったのですが、そのエレベータの速いこと。(時速60.6キロメートル) 展望台入り口のある5階(地上25メートル)から展望台のある89階まで、37秒でアッという間に到達しました。しかもこれもまた、やっぱりというか東芝製のエレベーターでした。あらためて日本の技術力の高さと誇らしさを感じます。

そういえば市内を走っている車もトヨタが多かったですね。その日は運よく好天に恵まれ展望台からは遥か彼方まで四方を見渡せました。眼下はまるで飛行機から見下ろしたような景色です。

そしてそのビルの地下には、1993年にアメリカのニューヨーク・タイムズ紙で「世界の10大レストラン」に選ばれた鼎泰豊(ディンタイフォン)が入店していました。<http://www.taipeinavi.com/food/19/>

市内の台湾夜市(屋台)と違い、雰囲気・味・接客のどれをとっても一流のお店でした。世界の食通をうならせるといふ、メイン料理である「小籠包」を初めてここで味わうことが出来ました。

1958年に中国山西省出身の楊秉彝(ヤン・ピンイー)によって、台湾台北市に一号店が開店された鼎泰豊は、食用油を販売する油問屋として開業したそうです。

小籠包の販売は、本業の食用油の売り上げが落ち込んだ時期に、副業として開始されました。その後、鼎泰豊の小籠包は地元民に評判となり、1980年代には本業であった食用油の販売を取りやめ、小籠包の専門食堂に商売替えをしたそうです。



(*つづき→)

(*つづき→)

当時は近隣住民が利用する地元の食堂に過ぎず台湾国外の観光客をターゲットにした商業形態は採っていなかったようですが、ニューヨーク・タイムズで紹介されたことで一躍知名度が上がり、台湾国外から多くの観光客が、台北の店舗に来店する転機となりました。その後、台湾国外店舗としてロサンゼルスと東京の店舗を開店させ、続く国外の店舗を次々と開店していきました。昨年新しくなった博多駅シティのレストラゾーン「シティダイニングくうてん」にも入居しています。

(F)

究極のトイレ掃除研修! / 株式会社 福岡ビル開発
<http://www.1974.co.jp/>



トイレ掃除をするといいいことがあるとよく耳にします。小林正観さん曰く、家には7人の神様がつかうそうです。家が新築されると、その7人の神様がダーっと部屋を決めるらしいです。一番早い神様は見栄えのいいリビング、二番目の神様は玄関、三番目は・・・とこんな感じで最終的に最後の7番目の神様がおのずとトイレということになります。一番目の神様は何も持たず手ぶらで走ってきます。二番目の神様は小さな紙袋にお土産を入れて、三番目の神様はセカンドバックにお土産を入れて、そして最後の7番目の神様は山男が背負うような大きなザックを背負っているため七番目になってしまうという。しかし、そのザックには金銀財宝が入っていてみんなを裕福にしてあげようと思ってるそうです。そんなとても優しい七番目の神様のいるトイレ、いつも綺麗にしてあげたいものです。そこで今回ご紹介するのは、事務所移転工事のお手伝いをさせていただいたビル清掃、クリーニング、管理専門の「株式会社 福岡ビル開発」さんのひと味違った研修。企業において、トイレ掃除をはじめとする掃除活動を長年に渡って実践することによって、企業を再生させたり成長させたりする事例もあることからなんと「トイレをピカピカにして繁盛店になる方法!」という実演指導による研修をされてます。究極のトイレ掃除是非体験されてみてはいかがでしょうか。(K)

- 【人間力向研修の詳細】**
1. 研修のねらいと効果
自ら考え、自ら進んで行動する人材へ育てるため。
 2. 時間
13:00 受付
13:30 開始~
18:30 感想文提出
19:00 懇親会
 3. カリキュラム
(1) 講義: 会社の文化にする掃除について。
(2) 環境整備点検のチェックを実践。
 4. 受講金額: 31,500円(税込)
(懇親会料含む)
 5. 定員: 10名(1社につき3名まで)
 6. 研修日: 毎週 水曜日
(都合により変更する場合があります)

- 【トイレ掃除の極意と実演指導】**
1. 時間 午前7:30~午前9:00(90分)
 2. カリキュラム
(1) 用具の説明
(2) 注意事項
(3) 実技
 3. 受講金額: 10,500円(税込)
 4. 定員: 5名(1社につき3名まで)
 5. 実演指導日: 毎週 水、金曜日
(都合により変更する場合があります)
- 研修のお問合せ 0120-16-1124**



※小林 正観(こばやし せいかん、1948年11月9日 - 2011年10月12日) 心学研究者。日本の著述作家。著書に『そ・わ・か』の法則』『喜ばれる』など、ベストセラー作品が多数。(ウィキペディアより)

編集後記

先日、かなり以前から調子が悪かった携帯電話をスマートフォンに換えました。docomoのMED I ASです。めっちゃ高速通信です。サクサク使えます・・・と、後半半年した頃には言いたいです。機能は抜群なのですが、なんせアナログな脳と不器用な指を持つ私です。先日も真面目な内容でメールを作成、最後にカッコ良く「ありがとうぬ」。。。「ぬって何?」自分で読み返してガッカリです。新しい物とはとにかく使い倒すしかないわあつと、やっています。皆さんのお手元に私から届くメールが誤字脱字だらけでも、しばらく辛抱して見守っててくださいませ。今年の秋には、片手でサクサク・・・サクサク・・・(笑)の姿をイメージしてます。(イメトレ大事) そうそう! facebookも始めましたよ。こちら、ほぼ「いいね!」ボタン専門です。何事も、様子を見て確認して・・・更に、様子見くどいようですが、恐々やっています。それでもいいよ! って方は、お友達になりましょう。気の長い方、お待ちしてますヨ~~~~♪

BY. みちか